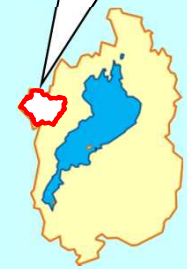


しんくつき
中山間地域総合整備事業 新朽木 地区

位置図

新朽木地区



○ : 事業実施区域 受益面積145ha

地区概要

関係市町：高島市
 主要工事：用排水路L=5.6km
 ほ場整備A=6.4ha
 生態系保全施設L=13.9km
 (獣害防止柵)
 総事業費：697百万円
 (国:55% 県:30%、25%)
 工 期：平成17～平成22年度

事業目的

未整備農地ではほ場整備と用水施設の更新整備を実施し、**営農の合理化、省力化**を図る。
 また、生態系保全施設(獣害防止柵)を整備し、**生態系を守り共存**する。

事業実施状況

未整備農地におけるほ場整備の実施と、老朽化した農業用水路などの生産基盤整備を実施して、**営農の合理化、省力化**を図った。また山沿いの用水路など泥上げ等の維持管理作業が困難な地域は、施設の暗渠化により維持管理の軽減を図った。
 農地が山林に接するため、イノシシやシカなど野生獣による農産物の被害を防止する柵を設置した。

事業の効果

ほ場整備、用排水路、生態系保全施設(獣害防止柵)など多様な工種を整備して中山間地域の活性化に寄与した。

ほ場整備 大型機械の導入により作業効率が向上し、**安定した農業経営が可能**となった。
 また、**担い手への農地の集積が進んだ**。



担い手への集約状況

| 事業前 (H16) | 完了時 (H22) | 現在 (H28) |
|-----------|-----------|----------|
| — | 1.2 ha | 4.3 ha |

用排水路 水路の暗渠化等により維持管理の労力が軽減し、**安定した用水の供給が可能**となった。



生態系保全施設(獣害防止柵)

柵の設置によりサル、イノシシ、シカなどによる農産物の被害が軽減し、生産意欲の減退を防止できた。



地域の方々の声

獣害防止柵の設置により農産物の被害が少なくなり、併せて整備された農地により**安定した農業経営が可能**となった。

今後の課題

農業従事者の高齢化が進むことから、**担い手の確保が課題**となっている。